科目名	資格対策講座 4						年度	2025	
英語科目名	Qualification Preparations Lecture 4						学期	後期	
学科・学年	電子・電気科 電気工学コース 2年次	必/選	選 2	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	長谷川 英視		教員の 実務経験		有	実務経験の 職種		電気主任技術者	
【科目の目的】 電気工事施工管理に必要な技術・知識を学び、2級電気工事施工管理技術検定の一次検定に合格することを目的とする。									
【科目の概要】 2級電気工事施工管理技士は一般建設業における専任技術者、主任技術者となることができ、施工管理上の技術責任者として活躍することができる重要な資格であり、昨今の建設業界での人手不足問題もあり資格の価値はますます高まっている。この授業では電気の専門知識はもとより、施工計画、工程管理、品質管理、安全管理等の広範囲の知識を求められる2級電気工事施工管理技術検定の一次検定に合格することを目標とする。									
【到達目標】 A. 資格試験結果 B. 資格試験への取り組み C. 資格の有用性・将来性の理解									
【授業の注意点】 電気技術者として仕事をしていく上で必要となる資格の取得を目標として、授業を通じて資格の必要性を学生自身が十分に認識して自主的に資格取得を目指すように授業を進める。キャリア形成の観点から、授業中の私語や授業態度などについては厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時間の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができないので注意すること。尚、オンライン授業であっても同じ条件となる。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	資格試験を受験し合格した		資格試験を受験したが不合格だった			資格試験を受験していない			
到達目標 B	十分対策した上で資格試験を受験した		対策が不十分で資格試験を受験した			まったく対策せずに資格試験を受験した若しくは未受験			
到達目標 C	当該資格の業界での有用性を理解している		当該資格の業界での有用性の理解が不足している			当該資格の業界での有用性をまったく理解していない			
到達目標 D									
到達目標 E									

【教科書】 レジュメ・資料を配布する。						
【参考資料】						
【成績の評価方法・評価基準】 試験：70%試験を総合的に評価する。 小テスト：15%授業内容の理解度を確認するために実施する。 平常点：15%積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。 ※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。						
科目名		資格対策講座 4			年度	2025
英語表記		Qualification Preparations Lecture 4			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	2級電気工事施工管理技士とは	2級電気工事施工管理技士の理解	1 試験内容	2級電気工事施工管理技術検定の出題範囲	3	
			2 建設業法	電気工事施工管理技士の役割を理解している		
			3 建設業法	特定/一般建設業、監理/主任技術者		
2	一次検定対策	電気設備	1 低圧設備	低圧配線、照明	1	
			2 高圧設備	発電、送配電、高圧受変電設備		
			3 雷保護	建物、送配電線の雷保護		
3	一次検定対策	関連分野	1 機械設備	空調、ヒートポンプ、給排水	1	
			2 鉄道	線路、電車線、パンタグラフ		
			3 コンクリート	コンクリートの基礎、鉄筋		
4	一次検定対策	施工管理法	1 施工管理	施工計画書、施工要領書	1	
			2 工程管理	各種工程表		
			3 品質管理	QC7つ道具		
5	一次検定対策	法規	1 電気保安4法	電気事業法、電気工事士法等	1	
			2 建築基準法	建築物、主要構造物、建築設備等		
			3 労働安全衛生法	安全衛生体制、災害報告		
6	一次検定対策	電気工学	1 電磁気学	静電容量、電界、磁気	1	
			2 電気回路	直流回路、交流回路		
			3 電気機器	直流機、同期機、誘導機		
7	一次検定対策	理解度の確認、模擬試験	1 総合問題	64問の中から40問を選択して24問以上正解	1	
8	二次検定概要	二次検定の理解	1 受検資格	実務経験について	3	
			2 施工体験記述	経験した工事、工程管理、安全管理記述例		
			3 語句記述等	語句記述問題、計算問題		
9						
10						
11						

12						
13						
14						
15						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等